

⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ⑧ マネジメントに関する領域

科 目 名 : ⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話 : 026-223-6670

FAX : 026-223-6679

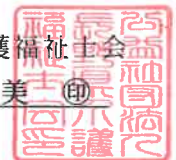
E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (公社) 長野県介護福祉士会

会長 島山仁美 印

申請責任者 : 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性を理解し、介護サービスのマネジメントについての考え方を獲得させるとともにそのための手法や基本的な考え方について理解させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性について具体例をあげて説明できる。 介護サービスの特性を踏まえて、求められるマネジメントの方向性について、説明できる。 リーダーシップに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のリーダーシップやタイプやあり方について理論を用いて考察できる。 モチベーションに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のモチベーションの現状や向上策について理論を用いて考察できる。 キャリアに関する基礎的な理論や考え方を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○介護サービスの特性と求められるマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性（サービスマネジメント論にもとづくサービス財の一般的特性、サービス評価の二面性、利用者の変容性、期待の不明確性、連続性）と特性に沿った提供のあり方 介護サービスと他サービスとの相違点の理解 倫理・専門性を持つことの意義、リスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性 ○リーダーシップ、モチベーション <ul style="list-style-type: none"> モチベーション（職員のやる気）、リーダーシップに関する基礎的な理論 理論を用いた自分やメンバーのリーダーシップやモチベーションの分析 ○キャリアと経験学習 <ul style="list-style-type: none"> キャリアとは何か（様々な定義） 初期、中期、成熟期の介護 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前課題①（2時間） <ul style="list-style-type: none"> 認定介護福祉士説明資料を読み、介護サービスの特性について事前学習。 ○事前課題②（2時間） <ul style="list-style-type: none"> 「リーダーシップに関する各理論とその概要」を、事前に各自が調査して、A4用紙1枚～2枚程度でまとめて持参する。 ○講義（2時間） <ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性を理解し、組織の全体像を把握できる力量を身に着ける。 サービスマネジメント論に基づく介護サービスの特性 福祉サービス事業主体とサービス提供組織の理解。 福祉サービスにかかわる組織や団体。 リーダーシップに関する基礎論（リーダーシップとは、リーダーシップの行動理論、コンティンジェンシー理論、福祉サービス組織におけるリーダーシップのあり方、モチベーション） ○演習（2時間） <ul style="list-style-type: none"> グループに分かれて議論を展開 事前課題の「リーダーシップに関する各理論」を、相互に調査した内容を中心に議論する。 さらに、日常業務における倫理や専門性の意義、リスクマネジメント、コンプライアンスの重要性に言及し、広い視点で議論を行う。 経営視点においても関心を持つことで、リーダーとしての質的担保のエビデンスとなる。 ○講義（2時間） <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの管理運営の方法 福祉サービス サービスマネジメントの対象領域 サービス評価の全体像 集団の力学に関する基礎理論 ○講義（1時間） <ul style="list-style-type: none"> 介護職員のキャリアについて 初期の課題、中期の課題、成熟期の課題 キャリアアンカー

⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

	<p>職員のキャリア課題について学ぶとともに、自分・部下・上司のキャリア意識（キャリアオリエンテーション、キャリアアンカー、仕事観）の把握の視点・キャリアの考え方の理解と内省：組織内のキャリアラダー（キャリアコーン）、専門職としてのキャリア、ハプスタンスアプローチ（planned happenstance 理論）</p> <p>・経験学習理論と介護職における経験学習、成長経験</p>	<p>・専門職としてのキャリア ・経験学習理論</p> <p>○講義（1時間）</p> <p>・総体的知識（福祉サービスにおける人事・労務管理）（給与その他の待遇）（人材評価）</p> <p>・情報管理と戦略的管理（介護情報サービスの公表制度）</p> <p>○事後課題（3時間）</p> <p>介護実践者を中心に業務としてきた場合は、経営視点においては全く他領域であるが、認定介護福祉士となるためにリーダーとして実践の遂行をするためには領域を超えての情報や自己研さんが重要である。</p> <p>このことから、全体を振り返り、「リーダーシップ」に関してのまとめを1200字程度にまとめる。 （リーダーシップに関する理論について理解しているかを評価の視点とする。）</p>
<p>研修方法</p>	<p>■集合研修 ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○課題学習は事前課題として、①資料を読み自己学習、②レポート課題を課す。事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
<p>研修時間</p>	<p>15時間（集合研修8時間、課題学習7時間）</p>	
<p>修了要件</p>	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。また、各コマにおいて合計15分以上の離席があった場合には講義・演習の内容を補うレポート課題を提出するものとする。</p> <p>修了評価として以下により行う。</p> <p>①講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験（20問、40点満点）</p> <p>②リフレクションペーパーの内容（自分の属する介護職チームのメンバーのモチベーションを向上させるために、リーダーとして取り組むべきことは何か。それは講義で学んだどの理論を活用しているのか。そしてなぜその理論なのかについて述べる。）（30点満点で評価）</p> <p>③講義・演習への参加貢献度及び理解度等について講師が評価する。（30点満点で評価）</p> <p>①4割、②3割、③3割として、100点満点中80点以上をA評価、70～79点をB評価、60～69点をC評価とする。D評価の場合は再試験を行う。</p> <p>なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>	
<p>講師要件（講師の選定基準）</p>	<p>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p> <p>・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p>	
<p>(2)受講者について</p>		
<p>受講対象（受講要件）</p>	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <p>・「認定介護福祉士概論」を修了していること。</p> <p>○ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。</p>	
<p>修了評価</p>	<p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験（10問、40点満点）</p> <p>②リフレクションペーパーの内容（自分の属する介護職チームのメンバーのモチベーションを向上させるために、リーダーとして取り組むべきことは何か。それは講義で学んだどの理論を活用しているのか。そしてなぜその理論なのかについて述べる。）（30点満点で評価）</p> <p>③講義・演習への参加貢献度及び理解度等について講師が評価する。（30点満点で評</p>	

⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

	<p>価)</p> <p>①4割、②3割、③3割として、100点満点中80点以上をA評価、70～79点をB評価、60～69点をC評価とする。60点以下の場合はビデオ学習による補講を行った上で、別途課されるレポート（キャリアに関する理論についてA4用紙1枚にまとめる）を提出する。</p> <p>なお、集合研修を欠席した場合、課題が提出されていても修了を認めない。</p>
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。
開催場所（都道府県）	JA長野県ビル（長野県長野市）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成30年1月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>担当する講義等 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理</p>
	<p>中村英三 氏 長野大学学長、大妻女子大学短期学部 (兼任講師)、武蔵野大学現代社会福祉学部 (兼任講師)、流通経済大学社会福祉学部 (兼任講師)、常磐大学コミュニティ振興学部専任准教授、茨城県社会福祉協議会研修企画委員、軽井沢町社会福祉協議会理事、(社福)法廷会理事、長野県介護支援専門員研修企画委員、 主な研究業績 「社会福祉施設運営論」宇山勝義編著、光生館、「よくわかる社会福祉運営管理」小松理佐子編、ミネルヴァ書房、「社会福祉の理論と運営」古川孝順監修 (中村英三)、筒井書房、「再考 児童福祉」古川孝順監修 (中村英三) 筒井書房 他</p>
	<p>担当する講義等 修了評価 中村英三 氏 (長野大学学長) 履歴等は同上</p>
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	<p>研修委員会 (非常勤: 17名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。</p>
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育

⑧-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

機構問合せ先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合せ先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合せ先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	酒井良育
受講問合せ先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合せ先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は 10 年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)